

リーダーシッププログラム

supported by 株式会社Learner's Leanes × Minerva

**昨年(R5)の受講者中9割が
「自分のリーダー能力に自信を持てた」と回答。**

昨年度長崎県内の受講者様（順不同、敬称略）長崎文化放送、石丸文行堂、チョープロ、
オーシャンソリューションテクノロジー、Liaison Design、自遊庵（Goto Adventure Inn）、Kuu、今村商店、きゅーぶ、西海みずき信用組合

「知識理解」でなく「実践的な知恵」を定着させる科学ベースのカリキュラムです。

目指すは『Far Transfer』 = “一見全く異なる文脈においても、学習した内容を応用できること”

プログラムで習得するリーダーシップの18のコンピテンシー(※1)にはそれぞれラベルが貼られており、明確な定義があります。

(ラーニングアウトカムと呼びます。以下、Lo) そのため、意識して実践しやすく、再現性も高まり、異なる文脈でのLoの活用を必要とするカリキュラムで構成されています。これを11週間反復して繰り返すため、実践的な知恵として定着するのです。

高等教育の再創造を主導するミネルバ大学を旗艦パートナーとする米国ミネルバプロジェクト社（Minerva Project、以下ミネルバ）と国内唯一の提携を結ぶ株式会社Learner's Leanesの協力により、長崎の企業を対象に開催します。

※1 コンピテンシー：社内で成果を上げている人に共通する行動特性で、いわば「できる人から学ぶ」を実践的かつ具体的な形に落とし込んだもの。

提供プログラム

本プログラム「Managing Complexity」は、ミネルバが社会人向けに開発した多数の教育事業のうち旗艦コースとなる11週間のリーダーシップ研修です。複雑な状況下で本質的な課題を読み解くシステム思考から、周囲を動かすパーパス型リーダーシップ、インパクトを与えるコミュニケーション手法、共創を促すEQ（感情の知能指数）、実践的なイノベーション手法まで、困難な時代を生き抜くビジネスリーダーが明日からすぐに汎用できる実践的な知恵と思考法をお届けします。

講師



藤本 あゆみ
(一社)スタートアップ
エコシステム協会
代表理事



橋本 正徳
株式会社ヌーラボ
代表取締役



大谷 直紀
合同会社こっから
代表社員

期間・場所

▶2024/10/28~2025/01/14
毎週月曜 18時から20時 (全11回)

▶完全オンライン

※オプションプログラムはオフラインの可能性あり。

長崎県割
70%OFF

参加費

165,000 円 (税込)

<対象 (定員10名)>

- ・長崎県内に本店又は準ずる事務所がある企業で勤務している方
 - ・県内で開業している個人事業主
- ※対象でない方向けの通常プラン (税込: 605,000円/定員6名) もあります。
詳しくはWEBサイトを参照下さい。

修了証

米国ミネルバより、本プログラムの修了者には証明書が発行されます。カリキュラムは、毎授業へのフル参加を前提条件として厳密に設計されており、期待される習熟レベルを確保するためにも、遅刻・欠席ポリシーが厳格に適用されますので、ご承知おきください。

お申し込み



WEBサイトの「ENTRY」からお申込みください。

募集期間：2024/09/30 (月) まで

※早期申込者へ選考結果を早めに伝えることができるよう、応募があり次第、順次選考を行っていきます。

※選考の結果、受講者が満員になりましたら募集を終了します。

※簡単な選考 (書類、面談など) を行い、受講者を決定します。

※詳細をよく読んでお申込みください。

WEBサイト用
QRコード



事前
説明会

9/3 (火)
佐世保会場

9/4 (水)
長崎会場

*事前説明会の詳細はQRコードからご確認ください

Program Goals

組織への還元

・経営変革 ・組織開発 ・新規事業推進 ・人材育成

組織への還元の具体的成果

- ・個人の考えや行動は組織から影響を受け、また組織は個人の思考や行動から影響を受ける。
- ・組織と個人の相互関係を読み取り、自覚し、組織の効率とチームの生産性を上げる。
- ・人を動かすために認知的アプローチと感情的アプローチを使い分け、それぞれに適切に働きかける。
- ・個人やグループが掲げる目標、その根底にあるバリュー、及び目標への取組み方を決める行動指針を明らかにし、分析する。

個人スキルの習得

・明日使える実践的知恵 ・実践からの学び方 ・変化適応型リーダーシップ

個人的スキルの具体的成果

- ・意思決定のフレームワークとヒューリスティクス (経験則や先入観に基づく直感で素早く判断する)を活用し、課題を効果的に解決する。
- ・複雑なシステムにおける創発現象 (多くの要素が集まって相互作用したときに全体として新たな特徴が生まれる)を特定し、その原因を明らかにする。
- ・理想と現状の差分を整理し、課題を理解する。
- ・課題をさらに細かく分解する。
- ・制約条件を特定し、既存のソリューションで解決できるか見極める。

Reviews

～断片的な知識を体系的に整理し、明確に伝える能力が向上～

MCの学びは、現在の仕事における重要な指針となっています。

「こんなに脳が汗をかくことを今まで知らなかった」と感じました。10週間の学びで、断片的な知識を体系的に整理し、明確に伝える能力が向上しました。10週間で特に印象に残っているのは、「SystemDecomposition(システム分解)」の学びです。以前はとりとめもなく考えていたことを、登場人物の洗い出し、ズームイン・ズームアウトで思考する手法を学ぶことで、視界が大きく広がりました。さらに、思考の解像度が上がったことで、法律の文章を読めるようになったことも大きな収穫です。私の業界ではエネルギー関連の規制など難しい法律の文章に対峙することが多いのですが、その読解力が向上し、文章が伝えている内容を分解して理解する能力が身につきました。まるでピントが合うように、内容が明確に見えるようになったので驚いています。



株式会社チョープロ
松本さま

NCC長崎文化放送
坂本さま



～チームとして一緒に答えを探すスタイルに 変えることを意識～

MCを受講していた日々を振り返ると、答えがない議論の中で意見をぶつけ合うのに必死でした。職場は体育会系でトップダウンの文化が強く、ロジックで考える習慣がなく、ビジネススキルを学ぶ機会もほとんどなかったため、自分にとっては挑戦でした。MCで学んだことでリーダーシップスタイルが確実に変わりました。

関係に上下を作ることから脱却し、チームとして一緒に答えを探すスタイルに変えることを意識するように。後輩に共感を示しながら仕事を進めることで、「坂本さんは相談しやすい」と言われることが増え、変化を感じています。

MCを通じて世の中の複雑性を理解し、他人を信用して協働する姿勢が身につきました。いい意味で自分の脳を信じなくなったとも言えます。社内でも受講者を増やすことで共通言語を持つ仲間を増やし、さらなる革命を起こしていきたいです。

Program Schedule



複雑なシステムを
リードする

対人知性を用いて
関わり合う

不確実な環境下での
イノベーション推進

10/28 (Mon) [Session0](#)

Introduction

11/25 (Mon) [Session4](#)

感情知能

12/16 (Mon) [Session7](#)

進化するシステムにおける課題分析

11/5 (Tue) [Session1](#)

システム思考

12/2 (Mon) [Session5](#)

効果的な

チームダイナミクス

12/23 (Mon) [Session8](#)

不確実な環境下でのイノベーション推進

11/11 (Mon) [Session2](#)

行動科学と

モチベーション

12/9 (Mon) [Session6](#)

インパクトのある

コミュニケーション

1/6 (Mon) [Session9](#)

意思決定の
リーダーシップ

11/18 (Mon) [Session3](#)

パーパス主導の

リーダーシップ

1/14 (Tue) [Session10](#)

コース総括

お申し込み



お申込み用QRを読み取り、フォームを送信してください。

募集期間：2024/09/30 (月) まで

※早期申込者へ選考結果を早めに伝えることができます、応募があり次第、順次選考を行っていきます。

※選考の結果、受講者が満員になりましたら募集を終了します。

※簡単な選考(書類、面談など)を行い、受講者を決定します。

※詳細をよく読んでお申込みください。

お申し込み用
QRコード



お問い合わせ



本プログラムのお問い合わせは以下のメールアドレスにご連絡ください。



info@co-dejima.jp

〈主催〉長崎県、CO-DEJIMA

〈協力〉株式会社Leaner's Leaner

CO-DEJIMA

